



# 沖縄21世紀ビジョン

## 県民の意見を集約した「沖縄の将来像」

思い、夢、考え…、  
たくさんの声を5つに分けて考えてみよう。



21世紀ビジョンでは、県民から寄せられた意見を集約し、「めざすべき将来像」を5つに分けてみました。  
この将来像実現のための「課題」は何か。またどのように推進していけばよいのでしょうか。

アンケートにより沖縄県民から寄せられた数多くの意見(2008年11月～2009年11月)

### 県民が望む将来の姿

#### 沖縄21世紀ビジョンとは

21世紀ビジョンは、県民の参画と協働のもとに、将来(概ね2030年)のあるべき沖縄の姿を描き、その実現に向けた取り組みの方向性と、県民や行政の役割などを明らかにする基本構想です。沖縄県として初めて策定した長期構想で、沖縄の将来像の実現を図る県民一体となった取り組みや、これからの県政運営の基本的な指針となるものです。

2008年11月から約1年をかけて実施したアンケート(回収2,751通)や高校生の作文コンクール(509作品)等を通じて様々な声をいただきました。

#### 沖縄21世紀ビジョンの基本理念

21世紀に求められる人権尊重と共生の精神を基に、“時代を切り拓き、世界と交流し、ともに支え合う平和で豊かな「美ら島」おきなわ”を創造する。

- 温暖な気候とゆったりした時間の流れで暮らせる沖縄。
- 青い海、白い砂浜と自然の海岸線が続き、サンゴ礁によりイノー(礁池)の穏やかさが守られている沖縄。
- 多様な生物、亜熱帯の花や緑が島の美しさを引き立て、自然に囲まれた沖縄。
- 沖縄らしい自然や風景を求めて観光客が訪れ、物心両面で豊かな暮らしを実現している沖縄。
- 最先端の温暖化対策などの環境モデル地域を形成し、世界的に注目を集めるエコアイランド沖縄。
- 暮らしの中に息づいている伝統文化・行事などが、世界中で活躍するウチナーンチュの誇りの源となっている沖縄。
- 伝統文化の継承に加え、多様性を受け入れ、新たな文化を創造している沖縄。



#### 将来像 ①

沖縄らしい自然と歴史、  
伝統、文化を大切にする島

- 誰もが生きがいを持ち、十分な医療や福祉が受けられる沖縄。
- 癒しの風土や、健康長寿を支える食文化が世界中から注目されている沖縄。
- 安心して子どもを産み育て、十分な教育を受けさせることができる沖縄。
- 子どもたちを「島の宝」と大切に、希望と喜びに満ち、健やかに育てられる沖縄。
- 性別、年齢、障がいの有無に関係なく、あらゆる場所で活躍できる沖縄。
- 安くて便利な公共交通機関により交通渋滞が解消され、事故のない安全な沖縄。
- 島々では、それぞれの環境と伝統を尊重し、島特有の暮らしが守られている沖縄。
- ユイメールなど「沖縄の心」が受け継がれ、人の和、地域の和を大切にしている沖縄。
- 地域社会の一体感を醸成し、共助・共創型の安全・安心社会が実現している沖縄。



#### 将来像 ②

心豊かで、  
安全・安心に暮らせる島

- 心の豊かさだけでなく、経済的な豊かさも実現している沖縄。
- 日本とアジア・太平洋地域との架け橋として交通ネットワークが整備され、物流・情報・金融の拠点形成されている沖縄。
- 地場産品が沖縄ブランドとして広く認知され、持続可能な発展を支えている沖縄。
- 気候を活かした農林水産業と観光産業等が連携し、経済が発展循環している沖縄。
- 科学技術の拠点として新たな産業が興り、自立的な経済社会が形成されている沖縄。
- 働く意欲と能力にあふれる仕事があり、安定した雇用環境が整備されている沖縄。
- 大規模な米軍基地の返還が実現し、返還跡地を活用して、平和で豊かに暮らせる沖縄。
- 基地問題がなくなっている沖縄。
- 南北を縦断する鉄軌道等の公共交通システムを幹線として、路線バスやコミュニティバスが走っている沖縄。



#### 将来像 ③

希望と活力にあふれる  
豊かな島

- 「沖縄の心」で日本とアジア双方の発展に貢献している沖縄。
- 沖縄独自の国際交流の蓄積が、開放的で国際色豊かな風土として息づいている沖縄。
- 異文化を受け入れる寛容性やホスピタリティあふれる「沖縄の心」を受け継いでいる沖縄。
- 地理的特性を活かして、ヒト・モノ・文化など多様な交流が盛んな沖縄。
- 沖縄科学技術大学院大学を核として研究機関が集積し、研究成果を活かした新産業が創出されている沖縄。
- 国益・地球益に寄与する地域として、世界の島しょ地域における環境、防災技術の発信などの国際貢献を進めている沖縄。
- 平和を愛する「沖縄の心」が世界からも注目され、世界平和に関わる国連機関などの集積にもつながっている沖縄。



#### 将来像 ④

世界に開かれた  
交流と共生の島

- 「人材こそが最大の資源」との考えを共有している沖縄。
- 家庭と地域が連携して、幼い頃よりしつけや道徳などの人間教育を行い、心豊かな人間を育てる沖縄。
- 地域の自然や歴史、伝統、文化を伝え、地域を大切にし、誇らしく思う人間を育てている沖縄。
- 充実した教育環境のもと、子どもたちが地域への誇りを持ち、大きな夢と目標を抱いて生き生きと学んでいる沖縄。
- 学力や進学率などの教育水準が高く、語学教育が充実している沖縄。
- 2カ国以上が話せるような語学教育で、世界で活躍する人材を輩出している沖縄。
- 誰もが、いつからでも、学びたい時に学べる環境が整い、学べる喜びを享受している沖縄。
- 県民一人ひとりが個性と能力を十分に発揮し、生きがいを実感し続けている沖縄。



#### 将来像 ⑤

多様な能力を発揮し、  
未来を拓く島

アンケートを集約して分類されて導かれた5つの将来像

理想の将来像を実現するためには、どんな課題があり、何をすればよいのでしょうか。次ページからみんなで考えていきましょう。

# 5つの将来像実現にむけた「課題」と「戦略」

## 将来像

1

沖縄らしい  
自然と歴史、伝統、  
文化を大切に  
する島

基本的課題（将来像を実現するために解決しなければならないこと）

### 自然環境の保全と再生



失われつつある独特な自然や景観などを、どのように取り戻していけばいいの？

### 世界に誇れる環境モデル地域の形成



島しょ圏における環境モデル地域って、どうやってつくるの？

### 独特の歴史、伝統、文化の復興と創造



歴史・伝統・文化・県民性などを、どう守り、継承・活用していけばいいの？

### 沖縄らしい風景・景観とまちづくり



風景や景観を再認識し、どう守り、創り、育て、活かしていくの？

推進戦略（課題解決のための戦略）

### 沖縄グリーン・イニシアティブ

- 先進的な自然環境の保全・再生を推進します。ゾーニングや環境収容力の考え方に基づく新たなルール・仕組みづくりを行います。
- リサイクル技術を高め、廃棄物を資源として活用するシステムを確立します。また、自然環境に負担が少ない循環型社会をめざすとともに、経済発展の好循環を構築していきます。

- 国際的なモデルとなる「低炭素島しょ社会」をつくっていきます。亜熱帯の海洋島しょ圏という立地特性に合った環境技術（廃棄物資源の地域循環システム、再生可能エネルギーの導入など）の革新を進めます。



### 沖縄伝統文化・芸術の創造と活用

- 沖縄のよさと認識されている、命どう宝、ユイマール、イチャリバチョーデーといった精神文化を、大切な地域資源として守り、つなげていきます。さらに、普遍的・国際的価値観として世界に発信し、国際交流をはじめ様々な分野で活かしていきます。

- 芸術、エンターテインメント、食など、文化産業を戦略的に創造・育成し、観光リゾート地としての質を向上させ、新たな産業と雇用を創出します。



### 千年悠々の人間に優しいまちづくり

- 沖縄固有の景観・風景・風土を重視し、時間とともに価値が高まっていく「価値創造型のまちづくり」（景観10年、風景100年、風土1000年）を実現します。

- 高齢化社会と脱自動車社会を見据えた交通環境をつくり、自転車や歩行者中心のコンパクトな都市を創造します。



## 将来像

2

心豊かで、  
安全・安心に  
暮らせる島

### 健康・長寿の復活



健康・長寿をどのように復活させていくの？

### 安全・安心な暮らしの実現



子育てしやすい仕組みづくりや、健康・介護・医療体制をどのように充実させていけばいいの？  
災害への対応、治安の維持向上などは、どうやって取り組めばいいの？

### 個性豊かな地域社会づくり



地域社会をどのように再生していけばいいの？  
住民と行政を、どのようにつなげていくの？

### 食・風土・技術を活かした健康・長寿地域づくり

- 健康や長寿の分野で、沖縄が優位性・独自性を発揮できる食文化や風土などを再評価・活用できる方法を探り「健康・長寿おきなわ」の実現にむけて取り組みます。

- 総合医療や高度先進医療を導入します。県民と地域、学校、医療現場、大学、研究機関、行政の連携システムをつくります。



### セーフティネット（安全網）形成

- 保健・医療体制、医療と連携した介護・福祉の充実をめざす「健康福祉セーフティネット」、21世紀を担う子どもたちが可能性を発揮できる社会をつくるための「子育てセーフティネット」を整備します。
- 大規模自然災害、感染症の流行、国際犯罪、経済危機、食品偽装、凶悪事件など、重大リスクに対して危機管理機能を向上できる「社会リスク・セーフティネット」を確立します。

- 米軍基地から派生するあらゆる問題から県民の安全・安心を確保するため、日米地位協定の見直しなど、必要な協議や措置を求めていきます。



### 共助・共創型地域づくり

- 地域資源などの掘り起こしや磨き上げによって、それらを地域の宝・財産として共有します。また、地域社会を構成する住民や多様な主体の連携により、「共助・共創型のまちづくり」を進めます。
- 異なる環境を持つ県内の各地域社会が「同等の条件」を確保できるよう、地域特性に応じて産業、環境、教育、保健医療、交通、行政サービス、生活基盤の充実・強化を推進します。

- 距離と時間を克服する情報通信技術の活用は、島しょが持つ課題の克服や沖縄の自立的発展を支える有効なツールとなることから、沖縄全域においてユビキタスネットワーク社会を実現します。



# 5つの将来像実現にむけた「課題」と「戦略」

## 将来像

### 3 希望と活力にあふれる豊かな島

基本的課題（将来像を実現するために解決しなければならないこと）

#### 21世紀の「万国津梁」の実現



アジア・太平洋地域との交流を、どのように進めていくの？

#### 地域に根ざした産業の振興



地域産業を持続的に発展させるにはどうすればいいの？

#### 沖縄を索引する新しい産業の育成



那覇空港の国際物流ハブ機能をどのように活用していくの？  
環境、健康、高度医療分野など次世代産業を創出するにはどうすればいいの？

#### 雇用の創出と人材の確保



雇用の場の確保や、働きやすい職場環境をどうやって整備していくの？

#### 離島力の発揮



地域資源を持続的に活用する仕組みをどのようにしていくの？地域の担い手は、どのようにして育てていくの？

#### 基地返還跡地の活用



沖縄全体の発展のために、どのように活用していけばいいの？

#### 資金の確保



民間投資を促し、政策金融の充実・強化はどうやって行うの？

### 推進戦略（課題解決のための戦略）

#### 21世紀の「万国津梁」形成



- 日本本土とアジア・太平洋地域、欧米州等との交流を促進します。情報通信基盤、空港・港湾の整備や機能拡充を進めて、国内・国際交通ネットワークの新しい展開とコスト低減を図ります。
- アジアの経済発展の恩恵を受け、かつアジアの発展に寄与できる「アジア・ゲートウェイ」を実現します。

#### 持続的発展の基礎となる地域産業の振興



- 農林水産業では、おきなわブランドを確立し、食品加工、流通・販売、観光等が連携・融合した新たな付加価値の創出を図ります。
- 地域や島々に根ざしている農林水産業や製造業、医療・福祉・介護など地域産業を支え、振興に取り組みます。
- 優位性のある地域資源を活用した地域密着型産業の育成・支援を図ります。

#### 沖縄新・リーディング産業育成

- 環境収容力を配慮しながら、世界水準の「目的地型リゾート」をつくっていきます。
- 情報サービス、ソフトウェア開発、コンテンツ制作など情報通信産業の高度化・多様化を進めます。
- 沖縄科学技術大学院大学等を中心とした「知的クラスター」を形成し、ライフサイエンス、医療・健康分野の技術革新や新産業の創出を図ります。
- 那覇空港や那覇港の国際物流拠点形成し、国際競争力のある機能強化によって新たな臨空・臨港型産業の集積を図ります。
- 本土を含むアジア地域の消費者ニーズや気候変動など様々な環境変化に対応できるフロンティア型の農林水産業を振興します。
- 再生可能エネルギー等の環境関連産業を、沖縄の基幹産業の一つとして振興します。
- 海洋資源の開発・利用を促進し、海洋産業を振興します。

#### 雇用対策と多様な人材確保

- 働きたい人が働きたい職につける雇用の場の確保、就業支援、多様な生き方が選択・実現できる職場環境を整備し、「雇用セーフティネット」を確立します。
- 若者、高齢者、女性等の就業を促進し、将来的に不足する労働者については積極的に県外労働力（外国人含む）の確保・育成を推進します。
- 国内外から「頭脳人材」（超一流の研究者・科学者、専門家等）を受け入れるための環境を整備します。

#### 海洋島しょ圏を支える離島力発揮

- 条件不利性やシマチャビ（離島苦）等の実情を踏まえながら、交流人口の増大、地域産業の振興、雇用の場の創出を図り、「自立ネットワーク型」の離島振興モデルをつくります。
- 排他的経済水域の確保や豊富な海洋資源の存在など国益を担う地域として、価値を再確認し、「離島力」を高める取り組みを促進します。

#### 大規模な基地返還跡地の活用

- 都市再生の視点から跡地利用を推進し、人と自然が調和する生活空間を回復します。
- 基地返還跡地の有効利用と県土構造の再編を「自立経済構築」の大きな柱として取り組みます。
- 返還跡地の整備では、連携と協働による広域的な構想・計画を立案し、新しい跡地整備の仕組みや法制度等を創設します。



#### 政策金融の活用

- 地域産業の振興や新たな産業分野の創出、離島振興、基地返還跡地の開発など、多額の資金需要に対応するため、総合政策金融機関としての沖縄振興開発金融公庫を積極的に活用します。

## 5つの将来像実現にむけた「課題」と「戦略」

### 将来像

# 4

世界に開かれた  
交流と共生の島



基本的課題（将来像を実現するために解決しなければならないこと）

#### 外交における沖縄の役割発揮

新時代の沖縄振興に向けて、どのような国際戦略があるの？

#### 国際交流と共生のネットワークづくり

人、モノ、情報、文化、科学技術などの交流ネットワークはどうやってつくるの？

#### 科学の振興と世界への協力・貢献

国際的な課題の解決に向け、沖縄の特性とこれまでの経験・知識などは、どう活かし、どのように貢献していくの？

#### 平和の発信と世界平和への貢献

平和を願う「沖縄の心」をどう継承、発信し、世界平和にはどのような関わり、貢献していけばいいの？

推進戦略（課題解決のための戦略）

#### 沖縄が担うべき地域外交

●地理的・歴史的な特性を活かし、日本の国際貢献の一翼を担い、アジア・太平洋地域との交流や世界各地とのネットワークづくりを行います。

#### 人・知識・文化の融和する海邦交流拠点形成

●アジア・太平洋地域との多角的なネットワークをつくり、新しいビジネスを創出するなど、沖縄の振興をリードする交流拠点をつくります。

#### 科学の振興と知の集積による国際貢献拠点形成

●食糧・エネルギー・医療など多くの課題がある国際社会への貢献のため、様々な科学分野の研究・集積、技術の振興を図ります。  
●アジア・太平洋地域の共通課題に対して、情報発信、技術移転、プロジェクトの実施を通して、国際的な協力・貢献を積極的に進めます。

#### アジア・太平洋「平和協力外交地域」形成

●沖縄のソフトパワーを活用した平和協力外交を担って、アジア・太平洋地域の持続的安定と平和に資する「新たな外交地域」として貢献します。



### 将来像

# 5

多様な能力を  
発揮し、  
未来を拓く島



#### 人間形成を重視する教育

しつけや道徳心、教養、自立心と誇りをもった人間を形成するにはどうするの？

#### 個性を育む教育

家庭教育、学校教育、地域社会での教育はどうあるべきなの？

#### 沖縄の活力を生む人材の育成

時代のニーズに対応した人材は、どうやって育てていくの？

#### 人権尊重と共生

●人権を尊重し、助け合い、支え合える心豊かな社会をめざし、家庭や学校、地域が協働・参画によって沖縄らしい個性をもった人づくりを推進します。

●沖縄県民全員が公平に教育機会が享受できる環境を整備します。

#### グローバルな教育先進地域づくり

●県民のニーズに応じた教育の機会を提供し、児童生徒の学力向上、豊かな心と健やかな体の育成に取り組めます。

●理解力、判断力、人間力などを重視し、「国際性」と「個性」を伸ばす教育システムを拡充します。

#### 「海邦養秀」の拠点形成

●個性のある多様な地域資源を活かし、農林水産業や製造業、建設業、医療・福祉・介護などの地域産業と地域社会を支える専門人材の育成を強化します。

●県内の知的資源やアジアとのネットワークなどを活用し、沖縄の基幹産業やこれからの有望産業を担う「産業人材」、地域社会づくりをリードする「地域リーダー人材」を育てます。



# 克服すべき沖縄の固有課題と対応方向

広い視野をもって  
みんなが幸せになれる  
方法を見つけ出そう。



沖縄には、自然的、地理的、歴史的 특성などから派生してきた固有の課題が存在します。県民が求める将来像を実現するためには、これらの課題を解決していく必要があります。

## 固有課題 ① 大規模な基地返還とそれに伴う県土の再編

●狭小な沖縄に存在する広大な米軍基地。沖縄は我が国の安全保障の負担の大半を担い続けてきました。しかし、安全保障は我が国全体の大きな課題であり、負担の公平が図られなければなりません。

「住民の安全・安心」確保のための条件整備を徹底すべく、日米地位協定の見直しなど必要な協議・措置の実施は、原則として日米両政府において解決が図られるべきです。また、今後の大規模な基地返還跡地については、国の責任の下において、適切な跡地利用が進められなければなりません。

### 課題への対応方向

- 基地返還に伴う環境浄化、地権者の負担軽減策など諸問題の解決
- 大規模な跡地利用を円滑かつ最適に進めるため、特別立法を含む新たな仕組み・法制度の創設

### 大規模な基地返還跡地への対応

- \* 基地跡地等を活用した新たな公共交通システム・骨格的な道路網の整備により都市交通ネットワークを再編・構築し、交通結節機能の形成を図ります。
- \* 国際機関の誘致等による国際貢献・協力機能や都市近接・リゾート機能等の導入を促進し、国内外の大学との連携によるサテライト機能の構築やリサーチパーク等の拠点形成を図り、新たな産業の立地を推進します。

### 基地返還に伴う県土の再編

- \* 大規模な基地返還が予定されている[中南部都市圏]をはじめ、[北部圏域]、[宮古圏域]、[八重山圏域]がそれぞれの特性を活かしつつ、連携を図り、アジア諸国との国際交流・貢献を通して、持続可能な発展を目指します。
- \* 特に、[宮古圏域]と[八重山圏域]の連携を強化し、国内外からの交流人口の増大を図るための戦略的な取り組みを進めます。

## 固有課題 ② 離島の新たな展開

●広大な海域に散在する大小160の島々からなる沖縄の離島は、個性ある伝統文化や豊かな自然環境といった魅力を持っています。その一方で、離島が持つ遠隔性や狭小性は、生活していく上で様々なシマチャビ(離島苦)を生み、人口流出や高齢化の要因となっているなど、多くの課題があります。

### 課題への対応方向

- 離島の各種生活基盤の充実強化、防災の強化等
- 離島に住み続けることができる条件の抜本的整備
- 農林水産・観光産業の振興
- 地元が潤う仕組みづくり

### 生活環境基盤の充実強化

- \* 沖縄の心である「ユイマール精神」に基づき、県民全体で支え合う新たな仕組みを構築し、行政サービスの高コスト構造の改善に取り組みます。
- \* 生活環境の整備、医療環境の向上、防災の強化、交通・情報通信体系の拡充、人材の育成、地域産業の振興、観光・交流の振興等を重視した「総合的離島振興策」を推進します。

### 離島が持つ総合力の発揮

- \* 航路・航空路の運賃の低減化に向けた新たな仕組みを構築するとともに、東アジア地域等との国際航空・海上ネットワークの形成を進めます。
- \* 農林水産業・観光産業等との連携強化と情報通信技術等を活用した「離島の魅力」の発信等によって、交流人口を増大させ、地域産業の振興や雇用の場の創出を図ります。
- \* 守るべき生活文化や自然環境など「離島の魅力」の保全を図るとともに、良質な離島観光と地元が潤う仕組みづくりに取り組みます。

### 離島の新たな位置づけ

- \* 日本の領海及び排他的経済水域(EEZ)等の確保や貴重な海洋資源の存在等を踏まえ、国土に準ずる重要な地域として、その保全・管理・振興に対する新たな枠組みの導入を図ります。

## 固有課題 ③ 海洋島しょ圏 沖縄を結ぶ交通ネットワークの構築

●多くの離島で構成される沖縄は、島々を結ぶ交通手段が海路・空路に限られ、そのコストが人的・物的な移動の大きな障害となっています。また、鉄道網等で結節する日本本土に対し、沖縄は自動車への依存度が高く、渋滞による経済的損失、公共交通の利便性の問題など様々な課題を抱えています。

### 課題への対応方向

- 中南部都市圏を縦貫し、北部圏域に至る鉄道やLRTなど軌道系の新たな公共交通システムの導入
- 航路・航空路の運賃の低減化を図る新たな仕組みづくり
- 「低炭素島しょ社会の実現」や「少子高齢化・人口減少化社会への対応」を念頭に置いた効率的整備・改善

### 低炭素島しょ社会の実現

- \* 公共交通の充実に加え、ガソリン車から電気自動車等のエコカーへの転換を積極的に促進し、CO<sub>2</sub>排出量を大幅に削減します。
- \* 自動車に頼らないライフスタイルや自転車の利用を促進します。
- \* コンパクトな都市構造の実現により「歩きたくなるまちづくり」を推進します。



### 少子高齢化・人口減少化社会への対応

- \* 日常生活において誰もが利便性を確保できる交通環境の整備を図ります。
- \* すべての人に優しいユニバーサルデザイン化を推進します。
- \* 社会資本の整備の際は、建設時にメンテナンスミニマムの思想に基づき設計・建設を行い、建設後は、効率的な管理運用等により、耐用年数の延長に努めます。
- \* 費用を平準化することで持続可能な社会資本の維持を図ります。

## 固有課題 ④ 沖縄における地域主権と道州制のあり方

●国と地方の役割分担の徹底的な見直し、権限移譲の推進、地方税財政制度の整備等、地方分権改革が進められています。国と地方の関係が抜本的に転換する取り組みが進展する中、沖縄としての将来像実現に向けた地域主権と道州制のあり方が求められています。

### 課題への対応方向

- 地域主権を推進する制度を積極的に取り入れる
- 道州制における沖縄単独州のあり方の検討

### 将来像実現に向けた地域主権のあり方

- \* 地理的・歴史的的特性を活かし、沖縄の潜在力をより引き出し、日本の発展の一翼を担うため、「一国二制度」的な各種制度を積極的に取り入れます。
- \* 一括交付金など自由度の高い財源措置の構築が求められます。こうした制度的な裏づけにより地域のことは地域自ら考え、未来に対し自ら責任を持つ地域主権の思想の実現につながります。

### 将来像実現に向けた道州制のあり方

- \* 21世紀ビジョンの実現の観点から、新時代に相応しい「地方主権型自立モデル」の実現を基本方向に、新しい国の形を先導する沖縄単独州のあり方を検討します。





